



行事案内 Part 1

2月月例研修会のご案内

古の歴史と文化の香る

安堵町と広瀬神社を訪ねて！！

2月例会は、斑鳩の里、上宮遺跡公園から業平の道、太子道を歩き安堵町の歴史文化を散策し、河合町の広瀬神社の砂かけ祭りを見学いたします。

安堵町では、太子道、飽波神社、安堵町歴史民俗資料館、極楽寺など、昼食は、富本憲吉の生家、**【うぶすなの郷 TOMIMOTO】**でのランチを楽しんでください。

午後からは、大和川を渡り広瀬神社の「砂かけ祭り」に行きます。

安堵町は、古代から難波から飛鳥を結ぶ水上交通の要衝であり、戦前には、新法隆寺駅から平端駅間の天理軽便鉄道が行き交っていました。

太子道：斑鳩宮から飛鳥まで聖徳太子が愛馬の黒駒で通った道で、西に20度ほど傾いていたため「筋違道」と呼ばれていました。

飽波神社：素戔鳴尊が祀られ「なもで踊り」の絵馬や祭具、太子腰掛け石などがあります。

安堵町歴史民俗資料館（今村邸）：今村家は東安堵で庄屋役をして、天誅組の伴林光平と親交のあった今村文吾や、奈良県再設置の功労者、今村勤三や大阪帝国大学第5代総長、文化功労者の今村荒尾の生家です。また町指定無形文化財の「灯芯引き」など経験できます。

うぶすなの郷 TOMIMOTO：富本憲吉の生家で、日本近代陶芸の巨匠として1955年人間国宝に認定されました。1961年には文化勲章を受章しています。2年前よりレストラン・ホテルとしてよみがえっています。

広瀬神社：大和川対岸にあり、崇神天皇の時代の古社で水の神様です。風神をまつる龍田大社と共に日本書記に登場します。御田植祭は、「砂かけ祭り」といい例年2月11日に行われ、参詣者も入り混じって砂をかけ合います。

【実施要領】

期日：2月11日（月）雨天実施

集合場所：JR法隆寺駅改札口前 9時30分

持ち物：飲み物、雨具、防寒具

参加費：¥3500円（昼食代、入館料）

募集人数：16名 先着順で締め切ります。

昼食場所：うぶすなの郷 TOMIMOTO

レストラン【五風十雨】うぶすな小箱 3240円

今回はうぶすなの郷 TOMIMOTO で昼食をいただきます。事前予約制で定員16名です。

世話人：青木幸子・岡崎節子・富井忠雄

申込先：富井忠雄（携帯 090-7496-8342）

メール：t-tomii@ares.eonet.ne.jp

【行程】

JR法隆寺駅—上宮遺跡公園—善照寺—広峰神社—飽波神社—歴史民俗資料館—うぶすなの郷 TOMIMOTO（昼食）—極楽寺—案山子公園—広瀬神社（砂かけ祭り）—JR法隆寺駅 15時30分頃 行程約8km



レストラン五風十雨



砂かけ祭り

富井 忠雄